

# 令和2年度第4回石狩市障がい者福祉計画策定委員会議事録【要約筆記】

日時：令和3年2月15日（月）13：30～15：00

場所：石狩市総合保健福祉センターりんくる 視聴覚室

出欠状況 出席者 10名

敬称略

委 員					
役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
委員長	戸田 健一	出席	委員	赤山 好明	出席
副委員長	細谷 強志	出席	委員	福江 彰	出席
委員	森川 貴司	出席	委員	森 朋代	出席
委員	池田真由美	出席	委員	三島 照子	出席
委員	今西 浩子	出席	委員	笹谷 真琴	出席
事務局	所属		氏名		
	石狩市保健福祉部長		大塚 隆宣		
	石狩市保健福祉部障がい福祉課長		田村 奈緒美		
	石狩市子ども発達支援センター長		藤田 千晶		
	石狩市保健福祉部障がい福祉課 主査		川村 祐子		
	石狩市保健福祉部障がい福祉課 主査		角田 誠二		
	石狩市保健福祉部障がい福祉課 主査		山本 健太		
石狩市保健福祉部障がい福祉課 主任		鶴飼 和沙			

傍聴者 0名

---

## 会議次第

1 開会

2 報告

(1) パブリックコメントの実施結果について

実施期間：令和2年12月25日～令和3年1月25日

意見提出者数：0人

3 審議

(1) 障がい者福祉計画の提言案について

4 その他

5 閉会

## 開 会

【事務局田村】 これより石狩市障がい者福祉計画策定委員会を始める。  
(資料の確認)

## 報 告

【戸田委員長】 本日は、来年度からスタートする計画の点検や評価方法を中心にご議論いただく。パブリックコメントの実施結果について、事務局の方から報告をお願いします。

【事務局川村】 今回の計画の改定案について、令和2年12月25日から令和3年1月25日までパブリックコメントを実施した結果、意見提出はなかったことを報告する。

【戸田委員長】 パブリックコメントについて意見がなければ、障がい福祉計画の提言案の審議事項に入る。まず、今回の改正案について、誤字脱字などの修正はないか。

【池田委員】 4 ページの(1)、③の障がい児福祉計画の2～3行目の「石狩市障がい者計画の実施計画として位置づけます」の部分は、障がい者計画ではなく、障がい児計画ではないか。

【事務局田村】 障がい福祉計画は3つで成り立っている。1つ目が石狩市障がい者計画。2つ目が障がい福祉計画。3つ目が障がい児福祉計画。障がい児福祉計画も、基本理念などをうたっている1つ目の障がい者計画に基づく実施計画であるため、間違いではない。

【戸田委員長】 10月26日に市から提言依頼があったので、この改定案が妥当であるか提言したい。計画の推進の評価方法などについて意見があれば、付帯意見として提言するので伺いたいが、何か意見はないか。

(意見なし)

【戸田委員長】 では、私の方から提案させていただく。

(資料配布)

石狩市の計画においてもPDCAサイクルを取り入れた形になっているが、どの部分をどこが担っていくのか明らかにし、また、この策定委員会と協議会の役割分担も明確にする仕組みのひとつとして、こういったものを皆さんに提案したい。8ページの「計画の進行管理」の部分にこの図を載せることで、この計画を見ていただいた事業者にも、自立支援協議会がどのような機能を果たすところなのかを意識してもらえらるきっかけになると思う。この内容で問題なければ、市に提案したいが、いかがか。

【細谷副委員長】 協議会が様々な連携機関と、既に連携されているもの仕組みと結びつけていくのは大切だと思う。ただし、提案のあった部分のPDCAサイクルの中で、DOとCHECKに協

議会が入っているが、協議会が実行・推進し、それに対して協議会が評価・点検するというのは、少し違和感があるように思う。

【戸田委員長】 協議会が、実行部隊として市内でサービスや機関としていろいろなものを提供し、それが障がいを持っている方や家族にそぐわなければ、修正や見直しが必要になる。それを事業所としてやるのか、または、市のシステムや仕組みとしてやるのかには違いがあり、協議会の可能性ということを見ると、DOとCHECKとACTIONまで入れようと思ったが、外した経緯がある。協議会はCHECKや評価の部分をしてもらいつつ、自助共助でできる部分は工夫してもらおうが、市のシステムや計画のこの部分を変えた方がいいという意見が多く出たとしたら、それは協議会としての仕事ではなく、策定委員会の役割であると思うので、協議会はACTIONから外した方がいいと考えた。CHECKには、評価点検、自己評価ということもあるので、協議会を入れた方がいいと思うが、何か意見があれば伺いたい。

【森委員】 PDCAのプランは、実行しながら評価していくという側面もあるので、評価の部分に自立支援協議会が入っていても、そこは細谷委員が言っていることと矛盾することなく同じような意味で取れるのではないかと思う。

【戸田委員長】 サービスの担い手の人たちの存在は非常に重要であり、協議会はお互いに意見交換の場となっている性質を兼ね備えてもいる。評価に関しては協議会に頑張ってもらうことで計画を推進していく存在になるのではないかと思う。細谷委員いかがか。

【細谷副委員長】 協議会として何をやるべきか、どのように進めていくかということ、色々な意味で考えなくてはいけないし、計画に沿った形で実行していく必要があると考える。位置づけや存在、立ち位置があいまいな中での評価点検だと思っていたが、戸田委員長の先ほどの発言の中の様々な意見の集約からの見直し改善の提言の部分に協議会としての役割があると思った。それが、評価点検に当たるのであれば、協議会が色々な形で関わっていくことが重要と感じた。

【戸田委員長】 協議会は国が示した中の資料を見ると、市として市内の事業者の人たちと二人三脚しながら、市内に必要なニーズを解決するために必要なことを協議する場として位置づけられている。そのため、規定で市に提言ができるという関係性となっていることが多いが、石狩市の要綱の確認をお願いしたい。他に何か意見はないか伺いたい。

【三島委員】 協議会のメンバーはどのような人たちで構成されているのか。

【事務局田村】 協議会のメンバーについては、自立支援協議会の要綱で規定されている。市内の事業者が主だが、その他には当事者の会の方も入っている。

【細谷副委員長】 補足すると、市民の方は色々な形で参加できるようなシステムとなっている。協議会の図

の一番上に市民報告会というのがあるが、年に一回程度、どなたが参加してもいいような形で活動報告的なものをしているが、その開催をどう周知していくのかはこれからの課題にはなっていくと思う。

【戸田委員長】 石狩市は市民報告会を取り入れるのが早かったと記憶している。森川委員は市民報告会に参加したことあったと思うがどうであったか。

【森川委員】 かなり前だが、参加したことがある。協議会の活動内容を市民に知ってもらうために、市民報告会が実施されたと記憶している。ただ報告しても伝わらない部分もあるので、市民の関心の高いテーマを設定し、講師にきていただき、開催していた。

【戸田委員長】 当初、協議会の報告だけをしていたら、関係者の参加が多く、市民報告会になっていなかった。どうやって協議会を開かれたものにするかということは何のまちでも苦戦している。市民の方は話題が関係してこないと、なかなか参加が増えない。まちの課題として色々なことをテーマとした研修会にすると、市民の参加が多くなる傾向がある。それを今後どのように考えていくのかが大切だと思う。

【事務局田村】 協議会は協議をする場ではあるが、市に対して提言をするということが明文化されていない。協議のみである。

【戸田委員長】 障がい福祉課が事務局として入っているのであれば、問題ないと思う。また、策定委員会をACTIONとPLANに入れたが、このあたりはどうか。また、計画が策定された後、策定委員会がどのように関わっていくのか、イメージを教えてください。

【事務局田村】 今後、向こう6年間に渡り計画を推進していくが、年に1回振り返りをしたいと思っている。策定委員会のメンバーには、年に1度このような会議を開催し、進捗状況の確認や、改善点、見直し点があれば、その都度意見をいただきたい。計画策定は6年に1回、もしくは3年に1回なので、見直し改善のACTIONの部分として、年に1回必要な情報を伝え、意見をいただくことを、6年間続けていきたい。

【戸田委員長】 時期的には年に1回、2月や3月の開催のイメージか。

【事務局田村】 そのとおり。

【戸田委員長】 そのあたりについて、何か意見はないか。

【三島委員】 当初から年に1回振り返りということで、委員全体が話し合う予定になっていたのか。

【事務局田村】 第1回の策定委員会で、今年度は策定するので4回から5回開催して意見を頂戴する、それ以降は年に1回開催し、進捗状況の確認をしていただくと伝えていた。

- 【戸田委員長】 もっと回数を増やした方がいい等、三島委員は何か考えがあるか。
- 【三島委員】 いいえ、計画の策定が終わったら終了だと思っていた。
- 【事務局田村】 任期は2年間である。任期としては、この場の皆さんはあと1回出席をしていただく。できれば今後も続けてほしい気持ちがある。
- 【三島委員】 振り返りは次の任期の人がやるのか。
- 【事務局田村】 次の任期の人ではなく、令和3年度は令和4年の2月、今ぐらいの時期に振り返りの会を開催する。
- 【三島委員】 それが終わったら、次の別な委員会がまた立ち上がって、新しい委員を募るのか。
- 【事務局田村】 委員会の名称は変更ない。メンバーは任期が2年のため、委員が入れ替わるかもしれないが、続けていただけることを期待している。
- 【三島委員】 任期は2年か。
- 【事務局田村】 任期は2年である。
- 【戸田委員長】 その他なにか意見があれば伺いたい。来年度の振り返りの際、評価や点検の仕方はどのようになるかについての意見はあるか。検討が必要だとは思いますが、それぞれ所属している会で事前に意見を伺うことはできないか。また、協議会でも、年に1回程度、計画を基にした意見交換会を設けることは可能か。
- 【細谷副委員長】 可能である。
- 【戸田委員長】 計画策定後の進捗管理や見直し方法のイメージは何かあるか。
- 【事務局田村】 第2回の策定委員会で配布した第3期の障がい者福祉計画進捗状況という横版の資料のような形でお示しする。
- 【戸田委員長】 この進捗状況の評価は、行政の所管課が中心になって実施していくのか。
- 【事務局田村】 そのとおり。
- 【戸田委員長】 来年2月の開催時の1か月くらい前に、進捗状況を確認できる資料は用意できるか。

- 【事務局田村】 用意できるようにしたい。
- 【戸田委員長】 計画書をひとつずつを見直していくのは困難であるし、それぞれが関わっている団体に意見を伺う機会を作ってほしいと思うので、こういった資料が事前にあればありがたい。他に何か意見はないか。今西委員いかがか。
- 【今西委員】 私も石狩市の地域自立支援協議会に何度か出席したことがある。勉強にはなったが、立場があいまいでよくわからないまま終わったこともあった。だが、戸田委員長が作成した資料で、こういった関わりだったということがわかり、よかったと思う。これを自分の所属している会の役員会で配布してもよいか。
- 【事務局田村】 計画書の方にこの形で掲載するので、計画書の形でご覧いただくといいと思う。
- 【今西委員】 次の役員会の時に持参したいと思う。そして、このような立ち位置で私たちは参加しているということを改めて認識できたら、参加することにより意義があるものと思える。
- 【戸田委員長】 続いて、赤山委員いかがか。
- 【赤山委員】 一生懸命計画をまとめていただいて、ありがたいと思う。
- 【福江委員】 福江委員何か意見や感想はないか。
- 【福江委員】 PDCAサイクルの流れというのは、みんなで改善していくということか。
- 【戸田委員長】 改善していくために、その流れで考えていこうということである。例えば、大地の会の中でも意見が出てきたとして、福江委員が相談支援の方にこのような意見が出ているということを伝え、改善していくサイクルをPDCAサイクルという。笹谷委員いかがか。
- 【笹谷委員】 今回、初めてこのメンバーになったが、このPDCAサイクルを見て、自分の立ち位置や立場がよくわかった。今後、改善することや感想があれば、その時出していきたいと思う。
- 【戸田委員長】 池田委員はいかがか。
- 【池田委員】 この策定委員会に参加して初めてこのような細かな計画があることを知った。この計画のとおり実施していくにはどうしたらいいのかということも含めて、これからも対策や対応を考えていくことが重要であると思う。
- 【戸田委員長】 そろそろ終了の時間となる。本日出た意見については、事務局でまとめ、提言案を作成した上で提出する流れになるがよろしいか。

- 【事務局田村】 提言案については、なるべく2月の末日までに市で作成し、委員の皆様へ提示できるよう準備したい。その後、意見をさらにいただいて、委員長に確定をいただくという形になる。計画全体としては既にパブリックコメントが終了しているため、大きく変えることはできないが、今回の付帯意見として提言をいただいた部分は盛り込めると思うので、何かあればご連絡いただきたい。
- 【戸田委員長】 最後に 皆さんの方から何か意見はないか。なければ、これで終了する。次回は、今回策定した計画の進捗と評価についてご議論いただくが、来年の2月くらいに開催する予定。事務局から何か連絡事項はないか。
- 【事務局大塚】 事業者からのアンケートなどから、様々な意見をいただいた。その中で、行政側の計画ももう少し踏み込んでよかったのではないかと反省点がある。皆様はまだもう1年度あるので、来年のこの時期に、計画の反省点を踏まえて、いろいろな声をあげていただき、行政の計画に今後反映していきたいと思う。
- 【事務局田村】 この計画は策定委員会からの提言を踏まえて3月に正式決定する。スタートは4月1日となるので、今後ともご協力をお願いしたい。
- 【戸田委員長】 以上をもって、本日の石狩市障がい者福祉計画策定委員会を終了する。

#### 議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違がないことを証するため、ここに署名します。

令和 3 年 3 月 11 日

石狩市障がい者福祉計画策定委員会  
委員長

戸田 健一